

2017
8
No. 158

しゃっきー



しゃっきーは厚岸町社協のシンボルキャラクター名です。

みんなの笑顔が広がった
ふらっとニコニコ広場2017が
開催されました

■フェイスブック始めました

■デイサービスセンターの夏祭り!

■平成29年度成年後見制度講演会

■ニュース&トピックス「町老連女性部心と園慰問活動」ほか

■ボランティア通信「なかよし」
「ハートコール利用者の募集」ほか



厚岸小学校金管バンド同好会の皆さんの演奏の様子



仲間とテーブルをみ楽しいひと時を過ごしました。

みんなの笑顔が広まった ふれあいの一日 ふらっとニコニコ広場 2017

去る7月23日(日)厚岸町社会福祉協議会主催の「ふらっとニコニコ広場2017」が社会福祉センター大ホールで開催されました。この広場は、子供や高齢者の方々など、年齢や性別にとらわれず、地域の皆さんが社会の一員として、互いを支えあう社会となりましよう開催しています。

6回目の今年は、あいにくの雨予報のため、初めての屋内開催となりましたが、近隣の地域の皆さんを中心にたくさんの方の参加があり、大変にぎわいました。

厚岸消防署の「消防署のおしごと」は、暗闇の中を進む煙道(えんどう)体験と、消防服を着て写真撮影ができるコーナーが行われました。ファミリースポーツ会員による「チャイルドコーナー」では、壁一面に貼られた紙に自由に絵を書けるとあって、たくさんの子どもたちが訪れました。

また、スカットボール体験では、太田老人クラブの協力のもと、子供から高齢

者までたくさんの方が体験し、高得点を狙おうと真剣な眼差しで取組んでいました。

さらに、厚岸翔洋高校ボランティア部の「ペンシルパルーンの実演・配布」は、かわいらしいお花や拳銃などの形をした風船を子供たちに配布しました。お手玉・おりがみコーナーでは、ボランティアと訪れた子供たちのふれあいが印象的でした。帰りはお手玉と数点の折り紙のお土産をもらい嬉しそうにしていました。

恒例の無料配布では、鉏路太田集落委員会提供の厚岸の生乳を使い生産された「あつけし極ミルク65」や上



sweet☆box によるダンス

尾幌きのこ生産協同組合提供の新鮮な「しいたけ」を配布し、たくさんの方が列を作りました。

イベント企画では、「鼓魂絆纏」や「SWEET☆BOX」の演舞やダンスに加え、今年から参加の「厚岸小学校金管バンド同好会」の皆さんに演奏いただき、素敵なバンド演奏で会場はとて盛り上がりました。

鼓魂絆纏による大迫力の演舞



★当日の様子を写真で振り返ります。



A：チャイルドコーナーで絵を描く子供たち。
 B：太田老人クラブの皆さんが参加協力したスカットボール体験。
 C：生産品コーナーには、様々な野菜や小物などが並びました。
 D：消防服を着て記念撮影♪
 E：厚岸翔洋高校ボランティア部の皆さんは、子供たちに風船をプレゼント。
 F：おりがみコーナでは世代間交流がたくさありました。



Facebook始めました

厚岸町社会福祉協議会では、地域の皆さんに社協の活動をもっと知ってもらうため『Facebook』を開設しました。

ホームページ同様に、できる限り配信し、社協が行う事業をより身近に知っていただけたらと考えています。

まずは、一度覗いてみてください。そして「いいね」で応援をお願いします。

【アドレス】

Facebook <https://www.facebook.com/akkeshisyakyo/>
 当会ホームページ <http://akkeshishakyo.or.jp/>

7月17日から21日までの5日間 デイサービスセンターの 夏祭り！

夏らしい暑さの日もあれば、急に寒くなったりと、気温の変化の大きな毎日の中、デイサービスセンターでは一大イベント『夏祭り』が7月17日～21日までの5日間開催されました。

屋台では、焼きそば、アメリカンドック、かき氷、綿あめ、チョコバナナクレープ、飲み物といった豪華な手作りメニューがあります。



熱い盛り上がりを見せたのが、出店コーナーの射的、宝引き、運試しゲーム、そしてスタッフも交えて行う、ガラポンくじでした。

毎年、屋台のメニューや出店のゲームも新しいものに変わり、趣向を凝らしたイベントになっています。

利用者の笑顔が輝く5日間となりました。その様子を写真にてご覧ください！

宝引きでなにが出るかな？



ガラポンで大盛り上がりしました！！



屋台のメニューも充実しています。

大人気！うみえもんと記念撮影



仲よし4人娘が笑顔でポーズ



平成29年度成年後見制度講演会

落語で知ろう！ 成年後見制度



認知症高齢者は、全国の状況と同様に厚岸町においても増加が予想され、住み慣れた地域で本人らしい暮らしを続けていくための権利擁護の体制整備が課題となっています。

成年後見制度は、認知症・知的がい・精神障がいなどによって判断能力が十分でない方でも、自分の意思が最大限尊重された生活が実現できるように支援する権利擁護のひとつの制度です。

この制度を題材にした落語と、後見人支援の専門職との体験談話を通じて、楽しく成年後見制度について学びませんか。

■日時 9月23日(日) 午後1時30分～午後4時00分
(開場午後1時)

■場所 厚岸町社会福祉センター (梅香2・1)

■参加費 無料

■内容

【第一部】成年後見落語「後見爺さん」
落語家 桂ひな太郎 師匠

【第二部】師匠と専門職との体験談話
司会 桂ひな太郎 師匠

ほか出演 厚岸町地域包括支援センター職員、厚岸町社会福祉協議会職員

(※厚岸町から委託を受けて実施する事業です。)

プロフィール

昭和60年 NHK新人演芸コンクール落語最優秀賞
平成5年 貞打辰造 その後数々の賞を受賞
平成17年 NHKフォーラムで成年後見落語を発表
現在～ 全国各地でわかりやすく公演中

【お問合せ先】
あんしんサポートセンターあつけし(厚岸町社会福祉協議会)
電話 68・9955
FAX 52・6044
Eメール info@akkes hishakyō.or.jp

第5回チャリティービアパーティーを開催します！

厚岸町社会福祉協議会では、地域福祉事業資金造成を目的としたチャリティービアパーティーを開催します。

今年で5回目を迎えるこのイベントは、ビールを飲みながら楽しく交流し、一緒に地域貢献を行っていただくというイベントです。

このイベントを通して得た益金は、今年度の当協議会が実施する地域福祉事業の財源として活用させていただきます。

みなさんのご協力をお待ちしています。

■日時 9月9日(土)18:30～20:00

■場所 社会福祉センター大ホール

■留意事項
①会券をお持ちでない方も受付で会券が購入できます。

②4つのビール銘柄を用意しています。

■問合わせ先
厚岸町社会福祉協議会
総務地域課：杉本
TEL 52-7752

[右] 昨年のビアパーティーの様子。
今年も交流後に、お楽しみ抽選会を行います。





[上]パレードに参加した職員と記念撮影する心和園の皆さん



[上]アンコールに応え歌う町老連女性部の皆さん



[左]「1,2,3!」と掛け声をかけ腰痛解消体操を行う会員のみなさん

今年も行きました港まつり 心和園でパレード観覧

昨年同様、7月7日にあっけし港まつり厚岸音頭市中大パレード観覧に、入所者10名と外出しました。

当日は、晴天に恵まれ、入所者も日に焼けないよう帽子をかぶり、飲み物を用意して準備万端。今年も丸一タバタさんの協力により、店用駐車場前の特等席を確保できました。

演者が通りかかると、拍手喝采で声援を送っていました。隊列には施設職員も多数参加しており、知っている顔の職員を見つけると「がんばれ～」と声援。記念撮影も行い、帰りの車内では「晴れて良かった」「また、来年も…」など、話しが盛り上がり、楽しい外出となりました。

健康は正しい姿勢から 釧路連東ブロック研修会

7月12日、社会福祉センターを会場に、釧路地区老人クラブ連合会主催のブロック研修会が、厚岸町をはじめ浜中町、標茶町、弟子屈町の4町の会員120名が集まり開催されました。

姿勢チェックから始まった講演は、くしろスマイル整体院の山岸信行院長(釧路町)が背骨の模型を使いながらわかりやすく説明したり、山岸院長の指導で参加者全員が「キャットレッチ」という猫背のストレッチを行ったりしました。

日々の生活の中で、意識して正しい姿勢を保つことが、これからも健康で心豊かな人生を送れるとあって、参加者は講師の話に真剣に耳を傾け、とても有意義な研修となりました。

美声披露と古布の寄贈 町老連女性部慰問活動

厚岸町老人クラブ連合会女性部では、歌と各老人クラブで集めた古布を届けるため、特別養護老人ホーム心和園へ慰問活動を毎年行っています。今年は6月30日に11名の女性部の皆さんが笑顔と一緒に届けました。「リ〜ンゴ〜の気持ちは〜よ〜くわ〜か〜る〜♪」と、女性部が高らかに歌い始めると、心和園に入所されている皆さんは、歌声にあわせ、一緒に歌ったり、手拍子をして、懐かしそうにしていました。その他に手踊り付きの「一円玉の旅カラス」、「ボケない小唄」、「舞踊」を披露し、閉幕となりました。

帰り際、懐かしい再会もあったようで、後ろ髪をひかれる思いで帰路につきました。

[ニュース&トピックス] NEWS & TOPICS

☆社協の行催事の他、町内福祉団体の話題などをまとめてお伝えします。

[下] 高齢者疑似体験セットを装着して廊下を歩く児童たち



[下] 北海道護国神社を参拝した遺族会員



[上] 震度7を体験できる釧路市民防火センターの地震体験

高齢者の気持ちを理解 厚岸小学校で出前講座

厚岸小学校では、5年生の総合的な学習の時間を活用し、「福祉の学習」に取り組んでいます。

5月19日は、入門編として社協職員による出前講座。前半に福祉やその仕事を学ぶ講義を、後半に高齢者や視覚障がい者の疑似体験を行いました。体験した児童からは「高齢者がこんな大変だとは。もう少し親切にしなければいけない」「真っ暗で怖いけど、パートナーがいればそれだけでも安心する。」などの感想がありました。

今後も「事前学習」「実践」「振り返り」を行ない、町内福祉施設への見学を行うほか、「こう福祉21」での発表を目標に継続学習していくようです。

戦争のない平和を祈る 遺族大会・慰霊祭に参加

厚岸町遺族会は、過去の戦争で尊い命を捧げられた戦没者の遺族などで組織され、会員の多くが高齢でありながら、町内外で行われる遺族大会、追悼式等に参加しています。

例年6月4日に旭川市内で行われた全道戦没者遺族大会に会員2名が参加し、翌日には戦没者の御霊が奉られている北海道護国神社を参拝しました。

参加者は、今後戦争が起こらないよう、世界平和を祈り、戦争の悲惨さを後世に伝えていく必要性を感じていました。

戦後72年を迎え、遺族会員も高齢になる中ではありますが、健康に留意し、これからも町内外で行われる慰霊祭に参拝を続けて参ります。

会員同士の交流を深める 身障協の町外研修旅行

身体障害者福祉協会厚岸町分会は、6月17～18日、1泊2日で隣町釧路方面への町外研修旅行を実施しました。本旅行では、安心して旅行を楽しむために福祉車両（乗降リフト付き）の活用やバリアフリーを意識した宿選びを心がけています。

1日目は、震度7が体験できる釧路市民防火センターを見学したあと山花温泉リフレに宿泊。2日目は、釧路動物園見学という行程でした。同防火センターでは、ホテル火災での客室避難を想定した煙体験室で煙道避難も体験。煙を避けるための低い態勢を取りずらい車いすでの避難の難しさを実感する場面もありましたが、終始笑顔の絶えない楽しい研修旅行となりました。

釧路地区ボランティアネットワーク 研修会の参加者を募集します

釧路地区のボランティア実践者が一堂に集い、ボランティア活動における資質向上や交流を深めることを目的とする、ボランティアネットワーク研修会が、8月25日に阿寒町で開催されます。

この研修会は、「災害ボラン

ティア」をテーマに、災害発生後の物流の対応を学ぶ施設見学、炊き出し訓練、避難所運営ゲーム北海道版「D○はぐ」が行われます。

いつ発生するか分からない災害に備えるため、また、地域の防災活動に役立てる機会ですの



で、興味がある方、ボランティア実践者はぜひ参加ください。

■開催日時

8月25日（金）
10:00～15:00

■場 所

釧路市阿寒町公民館
(釧路市阿寒町中央2丁目)

■申込み方法

8月10日（木）までに申込み先へ連絡ください。氏名、電話番号等をお聞きます。

■参加費

無料です。

■その他

- ①参加定員は6名です。
- ②送迎対応します。送迎時間は参加者の取りまとめが終了しい、連絡します。

■申込み先

厚岸町ボランティアセンター
(社会福祉センター内)

総務地域課：杉本

TEL 52-7752

FAX 52-6044



ハートコール利用者を募集します

厚岸町ボランティアセンターでは、ひとり暮らしの高齢者など、地域で孤立しがちな方々が、安心して暮らしていけるようにサポートする、ハートコール事業を行っています。

この事業は、テレビ電話（IP情報告知端末）を利用して、厚岸町ボランティアセンターに登録している傾聴ボランティアが、利用者に定期的に電話をかけ、コミュニケーションを図りながら、健康状態や生活状況などの安否を確認します。

心配ごとや気になることを相談できる機会にもなりますので、ぜひ利用ください。

■対象者

町内在住で65歳以上の高齢者及び身体障がい者手帳の交付を受けている方。

■利用可能日

平日（祝日と12月31日から1月5日までを除く）午前または午後で複数回利用できます。

■利用手続き

- ①申請者の個人情報、身体状況等について利用申請書を記入していただけます。申請にあたっては、担当が説明、確認するために訪問する場合があります。
- ②申請者の要望を聞きながら、サービスを受ける頻度と時間帯を決定します。

■その他

大きな地震や風水害など災害が発生した場合、安否確認の電話をすることがあります。

■連絡先

厚岸町ボランティアセンター
(社会福祉センター内)

総務地域課：杉本

TEL 52-7752



デイサービスセンターでボランティア活動を行いました

在宅老人デイサービスセンターでは、利用者みなさんに、敷地内の菜園で栽培した野菜を使用した料理を食べていただき、5月26日（金）に、同センターに隣接するふれあい菜園で種まきを行いました。

当日は、7名のボランティア

協力をいただき、利用者みなさんと一緒に土を耕し、大根、人参、レタス等の種やじゃがいもの種芋を植えました。

今後収穫し、10月に開催する収穫祭で芋団子やカレーライスを作るための材料に使用します。

また、7月17日（月）から

21日（金）までの期間で夏祭りが行われ、綿あめ、宝引き、運試しコーナーを手伝いました。「夏祭りを楽しみにしていたよ」との利用者の声がとてもうれしと、参加したボランティアが笑顔で話されていたのが印象的でした。



〔上〕ふれあい菜園で利用者と一緒に種まきをしている様子



〔上〕夏祭りで好きな景品を選んでもらっています

ボランティア活動助成金のお知らせ

公益財団法人大和証券福祉財団では、ボランティアで活動を行っている団体への助成を行っています。

対象は、会員数5名以上で営利を目的としない団体です。

■助成金額

1団体あたり30万円以内

■助成対象経費

謝金、交通費、旅費、備品、消耗品費、通信費、会場費など

■助成対象期間

平成30年1月1日から12月31日まで

■申請方法

ホームページ (<http://www.daiwa-grp.jp/dsf/index.htm>) から申請書をダウンロードし、必要資料を添付のうえ郵送提出。

■申込み締切

9月15日（金）まで

■その他

選考結果は12月中旬に郵送されます。

■問合わせ先

公益財団法人
大和証券福祉財団 事務局
〒104-0031
東京都中央区京橋1-2-1
大和八重洲ビル
TEL 03-5555-4640
FAX 03-5202-2014



編集後記

■今年は7月7日に開催された第61回厚岸港まつり市中大パレードに参加しました。天候が良く、これまでに参加した中で一番暑かった状況で厚岸音頭を踊りました。利用者みなさん、仕事で関わりあるみなさん、声をかけ手を振っていただきありがとうございました。(杉本)

■あんしんサポートセンターあつけしの担当をしています。毎日のように相談や出前講座が舞い込むわけではありませんが、1件1件関わるたびに、専門書等で詰め込んだ薄っぺらな知識が現実味をもって蓄積していく感じが新鮮です。9月には桂ひな太郎師匠の講演、10月には市民後見人養成研修とイベントが続きます。ご期待ください。(奈尾)

厚岸町社協広報誌

しゃっきー

2017. 8/No. 158

【編集】 広報委員会(以下、委員)
早川 知記 柏木由起子
奈尾 和哉 五十嵐愉美
米内山紘輝 井口 新一
杉本 裕樹 小笠原晶子

社会福祉法人

厚岸町社会福祉協議会

〒088-1115 厚岸郡厚岸町梅香2丁目1番地

厚岸町社会福祉センター内

TEL 0153-52-7752

FAX 0153-52-6044

mail info@akkeshishakyo.or.jp

URL http://akkeshishakyo.or.jp/

寄付・寄贈ありがとうございます(5月~7月)

【寄付金】 ▼特別寄付(福祉基金)日本民謡佐々本孝流釧路出島孝州民謡三絃会 10,000円、大場一博さん 50,000円〔イベントに際し〕 ▼一般寄付 鼓魂絆纏 23,489円〔法人運営へ〕、匿名 30,000円〔心和園へ〕

【寄贈品】 ▼法人運営 北海道厚岸翔洋高等学校/古切手

▼心和園 坂本貞行さん/紙パンツ、丹羽信夫さん/古布、跡治和子さん/花、小澤節子さん/野菜、厚岸消防会/トイレットペーパー、厚岸町民

生委員児童委員協議会生活福祉部/ティッシュペーパー



【上】港まつりの際のイベントで集めた寄付金を大野会長に手渡す鼓魂絆纏の代表三浦佳希さん

レクリエーション紹介

エピソード③

社協では、施設や事業でさまざまなレクリエーションを実施しているほか、遊び方を指導する職員の派遣も行っています。前回に引き続きシリーズで、楽しめるレクリエーションを紹介します。

『安全ソフトダーツ』

先端が針ではなく、マジックテープでの取り外しが簡単な矢を的に投げ、得点数(団体戦の場合は合計点数)を競って楽しめるダーツゲームです。

ルールは簡単で、従来のダー

ツと同様に、中心部に近く当てるほど点数が高く、団体戦では1チーム最大4名でプレイできます。矢の投げ方や力加減で、当たりそうで当たらないところが面白く、初めての方でも中心部(得点は50点)に当てることができます。団体戦では常に逆転のチャンスがあるので、大変盛り上がります。台座の組み立ても簡単で場所をとりません。

ぜひ、地域でも取り組んでみてください。

■問い合わせ先

社協総務地域課 ☎52-7752



「元氣いきいき教室」でプレイする参加者



この広報誌は、赤い羽根共同募金の配分金を受けて発行しています。